

---

---

## TOKYO FM「シナプス」をFM 岩手釜石スタジオから生放送

4月11日(月)13時～16時 パーソナリティ:やまだひさし

---

---

東日本大震災、大津波、原発事故という未曾有の大災害の中、TOKYO FMは、当社のスローガン「ヒューマンコンシャス～生命（いのち）を愛し、つながるころ～」に基づいた視点で特別編成に取り組み、的確な災害情報、生活情報を日々届け、メディアとしての公共的な役割を果たしながら、音楽の力、言葉の力で被災地のリスナーと全国のリスナーを結び付け、「やさしさ」「いたわり」「励まし」のメッセージを送り続けてまいりました。

また、JFNのネットワークを最大限に活かし、現地への具体的な支援協力を行っています。3月24日にはTOKYO FMが全面的に技術協力を行ったエフエム岩手の釜石スタジオが開設。被災地の情報や被災者の生の声を全国へ発信してきました。

震災から1ヶ月後となる4月11日、TOKYO FM「シナプス」(月～木 13:00～16:00/東京ローカル)はこの釜石スタジオから生放送いたします。

放送前日より「シナプス」パーソナリティやまだひさしとFM 岩手釜石支局のレポーター阿部志穂が現地のリアルな状況取材。特に釜石市役所の職員、避難所の運営に携わる人など、復興に向けて働く人々の様子を伝えていきます。

### ■番組概要

- ◇番組名 「シナプス」
- ◇放送日時 4月11日(月) 13:00～16:00 (東京ローカル)
- ◇パーソナリティ やまだひさし  
FM岩手釜石支局 阿部志穂
- ◇番組HP <http://www.tfm.co.jp/yamada/>

### ■釜石スタジオ

エフエム岩手は、今回の東日本大震災発生から13日目の3月24日、被災地釜石市にTOKYO FMの全面協力で「釜石スタジオ」を開設しました。このスタジオは当初4月に開設予定でしたが、3月11日の大地震・大津波直後から釜石支局との通信が途絶え、開設は危ぶまれる状況でした。部分的に電気、電話が回復してきた22日、エフエム岩手社内から「4月の開設予定を前倒しにしてすぐに立ち上げたい」との声が上がり、急遽にTOKYO FMによる放送用のミキサーなどのスタジオ機器と音声伝送装置を提供が決まりました。東京から現地までTOKYO FMの技術スタッフが機材を運び、組み立てを実施。翌23日の午後3時ごろ、約6百kg運ばれ機材は現地に到着して組み立てられました。その日の午後9時、被災地の生の声が直接、TOKYO FMの電波から流れました。